

第 20 回「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」開催

平成 28 年 9 月 24 日（土）、大阪市の天王寺区民センターにおいて、ゆうちょ財団主催の「第 20 回 知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」が開催されました。

今回の講座は、「障がいのある人のお金を巡る課題と支援」をテーマに、明星大学教育学部准教授の平井威氏に講師をお願いし、講師の長年の特別支援教育の経験を交えてお話しいただきました。

最初に、講師が特別支援学校の教員だった頃の、卒業生の金融トラブル事例の紹介がありました。ローン商品の怖さを知らず、安易にお金を借りてしまったがために、どのような経験をし、それがなぜ起こってしまったのか、今回の講座のテーマの根幹に係わるお話でした。

講師からは受講者に対して、それぞれの障がいのある人との係わりについて質問があり、全員が自らの経験や関係について発表していただきました。

受講者のほとんどが障がいのある人に対して何らかの係わりがあることから、講師からは学習支援のポイントをお話しいただきました。そのうちの一つであるスモールステップという方法は、物事をすべて細かく分類し、簡単な動作にして、できるという成功体験を積み上げることの重要性が紹介されました。

例えば、靴下を履く場合、まず足を靴下に入れる、次に靴下を引き上げる、かかとの部分を通す・・・というように細かくステップを分類し、それがすべてできるようにすることが肝心です。また、それが定着するまで繰り返すことで、一緒にできる、自分でできる、いつでもできる、というように成功体験をステップアップすることが大切であるとの説明がされました。

続いて、講師から出された障がいのある人のお金を巡る事例について、どのような支援が必要かを全員で考え、発表してもらいました。

最後に、親の遺産を抱えて一人暮らしの人、子どもの頃から入所施設、グループホームでの生活をしているが「さびしい」と言う人・・・など、障がいのある人を巡る様々なケースが紹介されました。

今回も多様な支援の必要性が認識された講座でした。



次回の金融教育支援員向けセミナーは、平成 28 年 10 月 1 日（土）、福岡市での開催を予定しています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。